

ナンバリング	B②01	科目名	こどもと環境
担当形態	単独	担当教員	古賀 琢也
ディプロマポリシーとの関連性	②, ③		
テキスト	「散歩しながら子どもに教えてあげられる草花図鑑」主婦の友社		
開講時期	前期	単位数・ 授業形態	1単位・演習
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な環境に目を向け、こどもの育ちや保育への繋がりを意識するようになる。 ・身近な動植物や、文化・歴史などについて、こどもと楽しみながら探求していく姿勢を身につける。 ・領域「環境」の視点からこどもの育ちや保育について捉えることができる。 		
授業の概要	フィールドでの身近な自然の観察、グループでの探索などを基に身近な環境に触れ、親しんでいく。また、観察や探索で体験したことを共有することで、遊びの展開や環境のおもしろさについて互いに意見を出しながら考えていく。その際、領域「環境」に関する視点や感性にも触れながら、専門的な力を養っていく。		
授業計画	第1回 学園内を探検し、お気に入りの場所や植物を見つけよう 第2回 身近な草花と保育 ～身近な自然に目を向ける・遊ぶとは～ 第3回 地域に目を向ける ～遊びから疑問や問いを膨らませよう～ 第4回 フィールドに出かけてみよう、学外探検 第5回 探検や発見をドキュメンテーションにまとめてみよう 第6回 経験を仲間と共有しよう ～遊びのプロセス・疑問と発見を共有する意味～ 第7回 虫かごを持って生き物探しに行こう ～作る・使う・観察する～ 第8回 身近な生き物と保育 ～飼育・発見・生命と子どもが経験すること～ まとめ		
準備学習と必要時間	<ul style="list-style-type: none"> ・授業で提示された視点に基づいて、身近な環境を意識して生活する。 (必要時間:各回 30分以上) ・授業内で学んだことを整理し、まとめること。(必要時間:各回 30分以上) ・指定された資料がある場合は、資料を読み、自分なりの考えをまとめておくこと。 		

評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・自然観察、遊びのレポート、 — 20% ・地域フィールドワークの準備、発表 — 20% ・生き物観察の準備、振り返り小レポート — 20% ・グループワークへの参加の積極性 — 20% ・まとめレポート — 20% 				
参考文献	授業中に適宜示します				
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・個人でのレポートだけでなく、グループでの議論やワークも行います。積極的な参加を期待します。 ・必要に応じて、学内外でのフィールドワークを行います。雨天でもフィールドワークを行うため、必要に応じて服装や靴などを調整して授業に臨むこと。 				
課題へのフィードバック方法	レポートにはコメント等をいれて返却します。				
卒業・免許状・資格との関連	卒業		幼稚園教諭免許状	必修	領域及び保育内容の指導法に関する科目・環境
	その他		保育士資格	必修	保育の内容・方法に関する科目
教員の実務経験	保育所、認定こども園での実践経験を踏まえ、保育における身近な自然の活かし方や子どもの感性について事例を交えながら解説する。				